

指定管理者管理運営状況評価(彩の国さいたま芸術劇場)

評価対象施設	彩の国さいたま芸術劇場
指定管理者	公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
評価対象年度	平成29年度
施設所管課	文化振興課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保、法令 等の遵守	A	法令等に基づく点検や事故防止等の安全対策が適切に実施されていた。
	平等利用の確保	A	利用許可基準に基づく平等利用の確保が図られていた。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	A	音楽公演について演奏者の都合により中止するなど一部事業の変更があったが、概ね適切に事業が実施された。
	利用状況	A	施設利用者数 338,935人(目標達成率 90.4%) 施設利用率 88.8%(目標達成率 100%) 利用料金収入 9,330万円(目標達成率 100%)
施設の適切な 管理	適切な管理の 履行	A	建物・設備の保守管理、清掃、警備など、協定書に沿った適切な管理が行われていた。
	財産の適切な 管理	A	施設や備品の状況を的確に把握し、必要に応じ修繕を行うなど、適切な維持管理が行われていた。
利用者サービス の向上	サービス内容の向 上	A	貸館利用者による催事のポスター印刷サービスを埼玉会館と2館体制で実施し、利用者のイベントPRの支援を拡充するなどの取組を行った。
	利用者の満足度	A	公演満足度 98.5% アンケートによる利用者満足度 94.3%
総合評価		A	文化振興事業について、充実した内容で各事業が概ね適切に実施された。 また、施設の管理運営については、施設の適正かつ適切な管理が行われるとともに、利用者サービスの向上による利用の促進が図られた。

特記事項	特に評価すべき点	・「彩の国シェイクスピア・シリーズ」について、吉田鋼太郎新シリーズ芸術監督により上演され好評を得るなど適切に事業を実施した。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	・地域に対して更にPRを行うなど施設利用のより一層の促進を図ること。 ・小・中学校、高等学校と連携するなど次世代による施設利用の促進を検討されたい。